

2017年07月31日

【コラム⑤】～トルコのチッタスロー「セフェリヒサル」～

イズミルの南に位置するセフェリヒサルは、トルコで初めて「チッタスロー」に選ばれた街です。チッタスローとはイタリア語で「スローシティ」という意味です。1999年にイタリアで始まった運動であり、「スピード重視で均一化されつつある世界への抵抗」を目的としています。つまり各地域の文化や地元の産業を大切にし、独自性を大切にしようという運動です。



セフェリヒサルは歴史も古くイオニア地方沿岸部のキュトリウム (Chytrium) とミヨネスス (Myonnesus) というふたつの半島の間に位置していた古代ギリシアの都市。セフェリヒサルは、地中海みかん畑、アーティチョーク畑、オリーブ畑など農業が盛んな地域です。毎年11月にはセフェリヒサル特産の地中海みかんフェスティバルが開かれています。近年では郊外のトゥルグトゥウで栽培されているラベンダーのフェスティバルも6月に開かれています。



その他にチッタスローとして地元で採れたものを推進しようと、毎週火曜日に地元や近郊で栽培されたものがセフェリヒサルの市場に並びます。日曜日には、近隣の可愛らしい漁村であるスアジユク城壁内に市場が開かれ、地元で採れた野菜や果物、村の人々が作った手作りの料理などが城壁内路地にびっしりと並び、地元の人や遠方から訪れる人で賑わいを見せます。人々はそこで手作りボレキやドルマを買い、海辺のカフェでトルコチャイを飲みながらゆったりとした時間を過ごします。チッタスローのシンボルマークであるカタツムリのかわいい手作りのお土産なども売られています。

また2011年には、絶滅寸前のトパンカラクルチュック小麦が偶然に発見され、シードセンターと協力し合い種を増やすことに成功。現在ではこの小麦を使用したパンができるまでに至りました。セフェリヒサルのパンは「アタパン」として店頭に出ています。

セフェリヒサル近くの観光地としては、テオス遺跡、エーゲ海リゾートなどがあります。スアジユク城壁の隣にはスアジユクマリーナやシーフードレストラン、お土産屋などが立ち並び、夏は夜中まで賑わいを

見せています。また、チッタスローの街として自然資源も大切に使っています。地理的に風力エネルギー、太陽エネルギー、地熱発電が豊富で生活に役立てられています。

セフェリヒサルまでの行き方はイズミルのバス乗り継ぎ点のウチュクユラルからドルムシュというトルコの乗り合いバスまたは市バスで行けます。所要時間は約 45～60 分。スアジユクまではセフェリヒサルからスアジユク行きのドルムシュに乗り換えて約 15 分で行けますので、両方を 1 日でまわるのもよいかもしれません。



トルコ共和国大使館・文化広報参事官室広報代理店
株式会社フォーカス